



# 日明小だより

♪生き生きと活気あふれる日明小学校を目指して♪

北九州市立日明小学校  
文責 校長 花田佳子

## 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

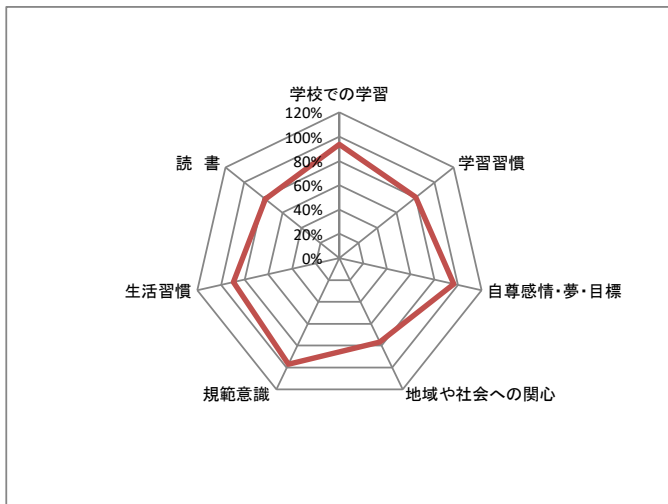
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	全国と比較すると、平均正答率が低い。「書くこと」については全国平均を上回っており、全国平均とほぼ同等だった一昨年度に比べ、学習の成果が見られる。しかし一昨年度同様に、「読むこと」についての平均正答率が低い。また、問題形式別では、記述式の平均正答率が低く、考えたことを文章にして表現する活動に今まで以上に取り組んでいく必要がある。	下回っている
算数	全国と比較すると、平均正答率が低い。「変化と関係」については、一昨年と同様の領域の正答率に比べ、大幅な改善が見られる。しかし、「数と計算」「測定」の領域についての平均正答率が低い。また、国語と同じく、記述で解答する問題の平均正答率が低い。	下回っている

### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器を使った学習が、全国に比べて定着している。昨年度配備されたGIGA端末を効果的に使用して、調べ学習や考えたことを共有することができている。</li> <li>・授業で分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげられていると感じている児童が全国平均に比べ少ない。</li> <li>・読書に親しむ児童の割合は、ほぼ全国平均並みである。しかし1日当たりの時間が短く、新聞を読んでいる児童も少ないので、さらに活字に親しむ取組が必要である。</li> <li>・スマホや携帯式のゲームなどを1日平均3時間以上している割合は5割を超える。その一方で、家庭学習の時間が1時間未満の児童が6割以上おり、家庭で計画的に学習に取り組むことができていない。</li> <li>・自分によいところがあると思っている割合は、ほぼ全国平均並みである。</li> </ul>

### 3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

・学習の基礎・基本の定着を図るための注意力や集中力、さらに認知機能の強化を狙い、今年度から取り組んでいる「コグトレ」に、今後も朝自習の時間に継続して取り組む。授業で学んだことを家庭学習や次の授業時間にもつなげられるように、授業の最後に振り返りの時間を確保して、学びに継続性をもたせる。考えや思いを表現する際に、どの教科でも書く活動を多く取り入れる。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

・節度をもってスマホやゲームを扱えるように、児童および保護者向けにインターネットやスマホの使い方に関する啓発授業を行ったり、関連する資料を配布する。家庭チャレンジハンドブックを活用し、自主学習の進め方や目安の時間を周知する。さらに自尊感情が高まるように、学校だよりや学年通信等を通して、子供たちが頑張ったことを学校と家庭で共有し、より多くの人から認められるようにする。